

千葉県立高校ユネスコ・スクールの魁 ～ESDの実践～



国際交流

令和元年度の取組

- ☆カナダ・セントジョーンズ・スクール音楽部と演奏会の合同演奏会（6月）
- ☆同校音楽部と1学年のクラス別交流会（6月）
- ☆中国語、韓国語の授業における留学生の語学交流会（6、10、11月）
- ☆ユネスコ委員とポーランド留学生の異文化交流会（8月）
- ☆文化祭でのユネスコ委員と外国人留学生との異文化発表交流会（9月）
- ☆1学年と50人の外国人留学生によるクラス別交流会（10月）

※ 交流する留学生はメロス言語学院と連携して招いています。



地域交流

令和元年度の取組

- ☆「宮久保夏祭り」に合唱部、ダンス部が参加（7月）
- ☆百合台小学校「たけのこ教室」でユネスコ委員がお手伝い（7月）
- ☆市川市主催で吹奏楽部が陸上自衛隊東部方面音楽隊と合同演奏会実施（9月）
- ☆「平川自治会秋祭り」でユネスコ委員がお手伝い（10月：台風により中止）
- ☆「いちかわ市民まつり」にダンス部が参加（11月）
- ☆百合台小学校「体験学習会」でユネスコ委員がお手伝い（11月）
- ☆百合台幼稚園で吹奏楽部が演奏会を開催（12月）
- ☆菅野小学校書初め行事で書道部がお手伝い（12月）
- ☆市川市消防隊の出初式で吹奏楽部が演奏（1月）

ESDの実践 ～地域に、そして国際的に開かれた学校づくり～

千葉県立市川昂高等学校

本校はJR総武線市川駅から北東約1.8キロ、バスと徒歩で20分ほどかかる場所にあり、近くには、「真間の継橋」や「手児奈堂」といった万葉集に縁（ゆかり）の古跡が点在するなど、歴史的なロマンを感じさせる地域に立地しています。

現在、各学年普通科8クラスずつ、約950人の生徒が学んでおり、県内でも大きな規模の高校といえるでしょう。生徒たちの多くは快活で真面目であり、学習に部活動にと高校生活を大いに楽しんでいます。部活動では、ウエイトリフティング部と吹奏楽部が関東規模以上の大会に継続的に出場しており、精力的に練習を行っています。

また、特色としては、千葉県公立学校で初めてのユネスコスクール認定校であり、ユネスコの提唱する「ESD (Education for Sustainable Development) = 持続可能な開発のための教育」に取り組んでいます。「持続可能な開発のための教育」と聞くとちょっと難しそうですが、簡単に言ってしまうと、たった一つのかげがえのない地球を永遠に存続させるための生活実践ができる社会人の育成を目的として行われる教育、というほどの意味になります。

本校は、今回の「魅力ある県立学校づくり大賞」への応募にあたり、ESDの実践として、地球を持続させていくために欠くことのできない国際平和は、身近な地域の和があってこそという理念の下、日頃から取り組んでいる国際交流と地域交流を紹介することにしました。

具体的には、国際交流については、主に東京都にある日本語学校「メロス言語学院」と連携した外国からの留学生との交流事業を、地域交流については、近隣の幼稚園、小学校、自治会と連携したボランティア事業を紹介しました。

その中でも特に反響の大きかった事業は、本年度初めて実施したカナダのセント・ジョーンズ・ハイスクールとの交流です。この事業は地域のテレビ局が取材に訪れ、広く紹介されることとなりました。また、県教育委員会のホームページ上の「フォト・ニュース」でも取り上げられました。

各事業の詳細についてはエントリーシートを御覧いただければと思いますが、より詳しくお知りになりたい方は、本校ホームページ上の「昂ニュース」を御覧になると、ESD以外の本校の教育活動についても分かっていたのではないかと思います。

留学生との交流や地域でのボランティア活動等、学校外の人々と関わる機会を多く持つことで、生徒たちがより積極的になるとともに、それぞれの場面に応じて自然に振舞えるようになったと感じています。

今後は1学年のみで行っている学年単位の国際交流を、他学年でも実施できるように交流行事の内容を工夫していきたいと思っております。

本校は、これからも「持続可能な開発のための教育」に積極的に取り組んでまいります。そして、そのことが生徒、保護者、地域住民の方々に信頼される学校づくりにつながるものと信じていますので、今後の本校の教育活動に御期待ください。皆様の御来校をお待ちしています。